



みんなにお願いする「コロナ

がんばーって止めようー

みんなが手洗いうがいして

協力して 終息にー

そのためにー

密を避けながら 対策を

マスク付けて

広がらなーいように

気を付けようー

みんなに対策しよう

みんなが協力しよう

手洗いを 忘れずに

生活しよう

協力して 頑張る

# コロナ終息を祈って

みんながわかるわ

いいよにねんそめ

みんなが心を入れ

思いやりのよに

そのーためにー

わねとわねつねに

するとみんな 自分

見直して 気が

たれどもをねに

たれどもをねに

たれどもをねに

たれどもをねに

# 「おおきなかぶ？」 ～おもいやりの山 シナリオ～ (作：前学校司書)

ナレーション：きょうは、みんなで、畑に、  
かぶをとりにきました。

児童①：ようし、おおきいのを取ろう。  
ヨイショ、ヨイショ、 なかなか、抜けないなあ～。

ナレーション：そこへもう一人が、手伝いにきました。

児童②：ヨイショ、ヨイショ 本当に抜けないね。

ナレーション：そこへまた、一人が、手伝いにきました。

児童③：ヨイショ、ヨイショ これは、かなりの大物じゃない。

ナレーション：そこへ、校長先生が、手伝いにきました。

校長先生：ヨイショ、ヨイショ ズボッ！ やっと抜けたね。

児童①：アッ、何か、ついてる。

（「おおきなかべ、新型コロナウイルス」）と書いてあるカードを見せる。

校長先生：みんなで力を合わせて、みんなで乗り越えようと頑張っていたのは、おおきなかぶじゃなくて、コロナというおおきなかべだったんだね。

児童①・②・③：

そうだ！そうだ！あれっ？

もっと、先にも、何かついてるよ。

（「コロナに負けない、おもいやりの山」）と書いてあるカードを見せる。

校長先生：「思いやり」の心があれば、コロナにも負けないんだよ。

さあ、みんなで、いっしょに歌おうよ。

希望を

ともに作りだす

おおきなかべ  
新型コロナ  
ウィルス

コロナに  
負けない

おもいやり  
の山





希望をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校

希望の大空へ

『勇気ある少年の話』



希望の大空へ

「勇気ある少年の話」

僕は 1年生！

# ある日曜日

近くの公園に 犬の散歩に出かけた。

そこに 小学生4年生かな  
5年 それとも6年生、

高学年の 男子4人が  
遊びにやってきたんだ。

一人の少年は、  
ブランコに乗り、  
あとの3人は、  
鬼ごっこを はじめた。

その中の一人の子が、  
なぜか ずっと  
「鬼役」となってしまうて

中々、友達を つかまえられなかった。

そのうち、

「やあい！捕まえてみるよ！」

「やあい！やあい」って

はやしたて 段々と、

声の調子が、意地悪になってきて、

そう 段々と

雰囲気が悪くなってきて、

最初は、遊びのつもりだったのに、

みるみるうちに「鬼役」の子の顔が、

悲しそうになってきて

引きつりだしたんだ！

その時だ。

ブランコにのっていた  
あの少年が、

さっと飛び降りて、  
みんなに向かって  
こうジェスチャーをして  
こう叫んだ！

「ゲームオーバー！」ってね。

一瞬の出来事だった。

一瞬のうちに、

みんなの心に、  
やさしさがもどった。



一瞬のうちに、

もとの笑顔にもどり、

どっと 笑いが  
はじけたんだよ！

「勇気ある少年」！

なんて

カッコいいんだろう！

僕は、  
あんな かつこいい  
お兄さんになりたい！

希望の大空へ

「勇気ある少年の話」



1  
年  
生

僕  
は

この画像を一部加工しています



ある日曜日の、近くの公園に  
犬の散歩に出かけた。



あーいっ



小学校4年生かな

5年、それとも6年生



高学年の男孩子4人が  
遊びにやってきました。

キーコ



キーコ

何でスで

フランク

のここのかかか

キーコ

よーいスター

ト!!

鬼ごっこ  
しよ  
いんけん



ころんた









ハーハー、  
もーだめ。

ん？



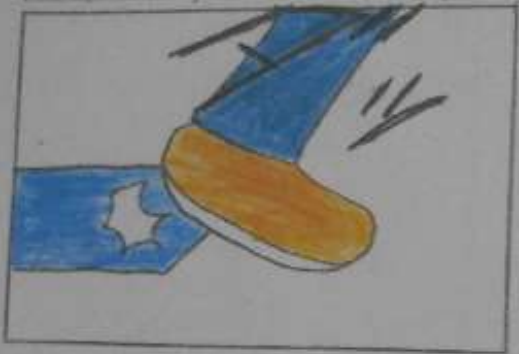
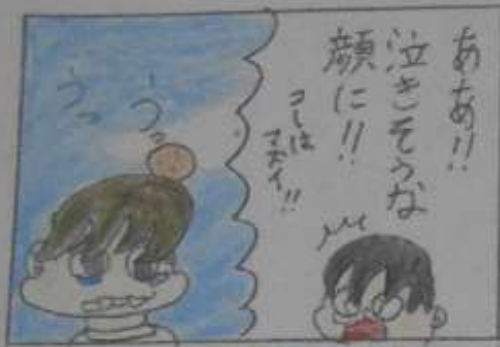
まことと言われた  
まっアホがあるか。

まことー！！

バカにしたな  
コノヤロウ











片  
一  
台  
オ  
ー  
バ  
ー  
!!

「喉のお米毒だ。だ。だ。」

「喉のうさぎだ。」

「みんなの心に。」

「やまこしやこがももどた。」



「喉のうさぎに、ももどたの。」

「大類にまどり。」

おもしろいね

おもしろいね

おもしろい

アハハハハ





「あんなに可愛い少年は！！  
なんてかっこいいんだろ！！」



僕はあんな  
かっこいい  
お兄さんにな  
りたいたい!!!



こんな時間まで  
何やってたの!!



たまたた  
ててて



希望の大空へ  
マンガ  
『勇気ある少年の話』

原作：豊田小校長

原画：豊田小校長教え子

豊田小「再発見」



豊田小の空









校庭に出ると



「校長先生、あの人だれ？」

と声をかけてくる子がいます。

その指の先には、

二宮金次郎の石像が

ありました。

「この人は だれなの？」

「何をしているの？」

「いつ だれが置いたの？」

「もしかして、

夜回り(よまわり)をして

豊田小を守っているの?」

実は、  
この二宮金次郎の像は、

二宮金次郎の勤勉(きんべん)な姿勢を  
見習って欲しいと

戦時中に多くの学校に、

二宮金次郎の像が  
置かれていたのです。



# 豊田小再発見

そのあたりのお話が  
「創立80周年記念誌  
とよだのあゆみ」の中に

「豊田小学校の思い出」  
として、卒業生が書いていました。



「創立80周年記念誌

とよだのあゆみ」

創立80周年記念誌

とよだの  
あゆみ

横浜市立豊田小学校



# 「豊田小学校の思い出」

卒業生の文章にもとづいて

昭和15年、

町の青年団の一人が、

横浜で二宮金次郎の銅像の  
売り物(二基)を見つけた。

もう一人に相談し

『これを、  
小学校に寄付しようじゃないか。』

いうことになった。

そこで、

当時の校長（13代目校長）に

相談した。

『善(ぜん)は、急げだ。

今から買いに行きましょう。』

と3人で、横浜に行き、

目指す銅像を買い、  
車で、持ち帰った。

そして、

豊田小学校後援会が

学校に

寄贈する形にして  
設置した。

しかし、  
その像は、

銅製であったため、  
戦争の軍事物資の不足にともない、

抛出(きょしゅつ)  
されてしまった。

そのあとに  
石造の二宮金次郎の像が  
建てられ、

それが、  
今の学校にあるものである。

「創立80周年記念誌」 「豊田小学校の思い出」(卒業生)から





**努力・努力・努力**  
**横浜市立豊田小学校**

(しめい)

だれにだって

じぶんにはできない

しめいを

もって生まれてきたんだ

# 挑戦

(ちょうせん)



希望をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校

いつものように門で  
いそいそ運動を  
していました。



おはようございます。

おはようございます。



すると、  
その子は



引き返してきて  
言いました。



ドラえもんは  
好きだけど、  
ドラえもんは……



その時、私は

ドラえもん人形  
をもっていました。



ドラえもんは  
好き？

と、その子に  
たずねました。

校長先生の方が  
大好きだよ。



その子は  
昇降口の方へ  
走って行きました  
(おわり)

はい！  
大好きです。



といて昇降口の方へ  
歩いて行きました。



# 希望をともにつくりだす 横浜市立豊田小学校



たいせつ  
**人**切にしよう  
おも ころ  
を思う心  
ひと

人権尊重  
すべての人間は、生れながらにして  
ついて平等である。(世界人権宣言から)

誰の心にも、いかに微笑をみせよう  
Dare no kokoro ni mo, ikani ni hohoemi o miseyou

そろえて  
おくまで

そろえて  
おくまで

希望をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校

式次第

- 一 開式の言葉
- 二 国歌・横浜市歌 斉唱
- 三 卒業証書授与
- 四 校長式辞
- 五 門出の歌
- 六 校歌 斉唱
- 七 閉式の言葉

卒業式前日

# 第131回卒業証書授与式



# 戦争四年めに

夕べは冷たく  
悲しく、  
雨が音をたてて  
降っている。

だが、

私は

この時期にも

私の歌を歌う。



だれが

聞いてくれるか、  
知らない。

世界は

戦争と不安に

息詰まるうと、

方々で

だれの目にも  
とまらないが、

ひそかに

愛の火が

燃えつつづけている

「戦争四年めに」ヘッセ詩集 高橋健二訳 郁文堂1976 66-69頁

校長式辞で紹介したヘルマン・ヘッセの詩

Im Vierten Kriegsjahr  
Wenn auch der Abend kalt und traurig ist  
Und Regen rauscht,

Ich singe doch mein Lied zu dieser Frist,  
Weiß nicht wer lauscht.

Wenn auch die Welt in Krieg und Angst erstickt,  
An manchem Ort  
Brennt heimlich doch,  
ob niemand sie erblickt,  
Die Liebe fort.

「戦争四年めに」ヘッセ詩集 高橋健二訳 郁文堂1976 66-69頁

希望と勇気をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校

わが豊田小学校に、

「栄光あれ！勝利あれ！」

希望をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校